

昭和55年度 和歌山県文化奨励賞

めぐろい とく 目 黒 威 徳

住 所：和歌山県伊都郡高野町

出 身 地：和歌山県伊都郡高野町

生 年：昭和12年

◎業績及び経歴

多摩美術大学で洋画を専攻していたが、途中昭和33年ころざすところがあり、京都陶磁器研究所に入所、同所において松風栄一氏に師事した。

昭和35年高野町に「南山窯」を築炉、翌36年には光風会展に入選、以後連続入選するなかで、京都新聞社賞を受賞、同38年、日展に初入選以来9回入選をはたされた。

昭和47年には光風会会員、現代工芸会会友、また昭和51年には現代工芸会(新工芸会)会員に推挙されている。

また昭和40年から県展招待作家となり同48年から県展審査員をつとめている。

作風は、伊賀風、伊羅保風をめざし、地元高野山の赤土を生かし、土のもつ素朴さとしぶさを追求している。

現在、高野山高校講師(美術)をつとめるかたわら、公民館活動の一環として昭和33年から高野口町、かつらぎ町、高野町など、次々と陶芸教室を指導している。